

令和 8 年度（2026 年度）

金沢大学法科大学院

入学試験問題案

刑 法

A 日程入試

（注意）

1. 問題冊子（表紙を含む）は 2 枚です。
2. 問題冊子は指示があるまで開かないで下さい。
3. 問題冊子と下書き用紙は持ち帰って下さい。
4. 解答は、鉛筆、シャープペンシル、ペン、ボールペンのいずれで記入しても構いません。
5. 解答にあたっては、どの問題から解答しても構いません。ただし、どの問題についての解答であるのかを答案中に明示してください。

令和8年度（2026年度）金沢大学法科大学院入学試験問題

試験科目	刑	法
------	---	---

以下の問題について解答しなさい。

問題1（各5点）

以下の語句あるいは概念を、具体例を示しつつ説明しなさい。

- (1) 危険の引受け
- (2) 刑法における「人の始期」

問題2（15点）

次の事例におけるXの罪責を論じなさい。ただし、特別法違反の点は論じる必要はない。

某公園内を歩いていたXは、ベンチに高級財布（時価約4万円。以下「本件財布」という）が置かれた状態であるのに気が付いた。Xが本件財布の中を確認したところ、現金6万円が入っていたため、現金と本件財布の売却代金を生活費の足しにしようと思い、本件財布を自らのコートのポケットに入れた。

ベンチから約2メートル横には自動販売機があり、Aがペットボトル飲料を購入しているところだったので、Xは本件財布はAのものだろうと判断したが、本件財布はAのものではなく、前日にBが置き忘れていたものであった。

帰宅したXは、隣人のCが近所でXの悪口を言い触らしていることを息子から聞かされたため、Cを黙らせる必要があると考え、便箋に「くだらないことばかり言っているようなら命はないと思え。せいぜい火の元に気を付けるんだな」などの文章を記載し、封筒に入れCの宛名を書き切手を貼って、近くの郵便ポストに投函した。しかしながら、郵便局員DがXの手紙を自動車で配送中に事故を起こしたため、手紙は滅失してC宅には配送されなかった。

以上